

9. 5 おどるアンケート抄：Q.私の芸能体験？

Facebook & 旧 Twitter（現 X）「とある民俗学講師（の補足メモ）」

- * 芸能さまざま：歌、楽器、舞踏、演劇、話芸…
- * 伝承母体としての「学校」：音楽、体育、文化祭、コンクール、サークル…
- * 芸能の「機能」もしくは「効果」：儀礼的目的、娯楽、通過儀礼、男女交際、異人歓待…
- * 芸能のヨロコビとは？：存在承認されたい生き物としての人間

【ソーラン節】ドバイ日本人学校で体育祭の際にソーラン節を踊りました。砂まみれの土地でアラビア語のUAE国歌を歌って始まった体育祭でしたが、ふるさと日本を思い出せて良かったです。

【エイサー】沖縄県那覇市で小学5、6年の時にエイサーを体験した。県内の小学校の運動会では、主に5、6年生がエイサーを踊る。小学校では男女の区別なく、大太鼓、パーランクー（小さめの太鼓）、チョンダラー（白塗りの道化役）のいずれかの役割が与えられた。私はパーランクーを叩いた。バチで叩いて音を出すのだが、バチの持ち方、叩き方、腕の回し方など細かく決まっていて、振り付け以外にも意識を向けなければならない点が多く、最初は難しかった。大きく回ったり、飛んだり、体を大きく使う動作が多いことに加え、暑さも相まって練習はとても大変だった。

【盆踊り（広島）】祖父母がいる広島県尾道市の生口島では、8月のお盆の頃、菩提寺で盆踊りがある。去年の夏からその年の夏までに亡くなった人の家族、お寺の檀家、地区の踊り手が集まって、亡くなった人を供養する。太鼓に合わせて地元の男の人が回し歌う地唄、野口雨情が作詞した瀬戸田小唄、三波春夫が作詞した瀬戸田音頭などを踊って先祖を供養する。新盆の人の家族は「供養になるから踊ってあげなさいよ」と地元の長老たちに声かけされる。

【盆踊り（京都）】小学2年くらいの時、近所だった、西本願寺（京都市下京区）の夏祭りで、浴衣を着て盆踊りを踊ったことである。誰でも参加できたため、妹とともに挑戦した。盆踊りなどそれまでしたことがなく、手の動かし方や歩き方など全く分からなかったが、周りにいた地域の大人たちの踊り方を見よう見まねで踊っていた。たまに、近くにいたおじさんおばさんが踊り方を教えてくれたりした。櫓のまわりを、太鼓や笛の音楽とともに何周もグルグル回るのは、幼いながらにとっても面白かったし、老若男女みんなが満面の笑みで踊っていたあの光景は、今でもよく覚えている。

【盆踊り（岐阜）】高校生の時、初めて盆踊りをした。地元・岐阜県大垣市にある、戦後に始まった夏祭りで、伝統よりも楽しさ重視だった。踊りも東京音頭から、はるこま、かわさきなど、地域もばらばらで、それ以外にアニメの盆踊り（ドラえもん、あられちゃん、アンパンマン）もあった。私含め盆踊り初心者も多く、お手本役の人たちの踊りを見よう見まねで踊っていた。最後には、みんなでダンシングヒーローを踊り、すごく楽しかった。

【棒の手】小学4年の学習発表会で、主に尾張地方の民俗芸能である「棒の手」をやった。棒の手は、竹や木などで作られた長棒と短棒や木刀を用い、2人が戦う形で行う演武である。調べたところ、「村の武芸」として江戸時代から続くもので、神社の祭礼などでよく奉納されるそうだ。演舞中は「はっ、やー、とっ！」などと大声で掛け声を出す。ペアの相手と息を合わせなければ棒が相手に当たってしまうこともあるため、たくさん練習をした。講師の方に見せていただいたお手本はとても格好良く、声も演武もとても迫力のある民俗芸能である（愛知県日進市）。

【獅子舞】小学生のころ、毎年のように獅子舞に参加していた。地域の小学生が主役で、2週間ほど夜に集まって練習し、太鼓のリズムや獅子の動きを必死で覚えた。本番の日には、獅子頭をかぶって街中の家々を回り、拍子木や太鼓の音に合

わせて舞う。おひねりとしてお金をもらえるのが少し誇らしく、とても嬉しかった（石川県小松市）。

【太鼓】小学校時代、埼玉県川口市で地元の太鼓チームに所属していた。練習は週末に近くの体育館で行われ、日々上手くなろうと努力していた。初めて舞台に立ったのは小学4年の夏祭り。多くの観客がいる前で舞台に上がり、横一列で仲間とともに精一杯演奏した。今でも忘れがたい経験である。私にとって芸能とはただの趣味ではなく、地域社会とのつながりを肌で感じられる場であったのだと気づいた。

【歌舞伎】小学生の時、日本舞踊を習っており、京都の南座で「お夏清十郎」の端役として踊った。失った恋人を求めて狂乱するお夏をからかう子供役として出演した。春の公演は、デビューを目指す新人の登竜門の役割も果たしている。端役の私はデビュー目当てではなかったが、みんなで練習したことを大勢の人の前で披露できたのは良い経験だった。

【演劇】私は演劇サークル『劇団愉快犯』に所属している。初めて役者として客の前で舞台に立ったのは今年の9月に吉田寮食堂で行われた夏公演『不幸財』の短編の1つ『金星人』であった。私はギャルの役を演じたが、普段とは違う行動を役だからという理由でするのはとても楽しかった。メイクもギャルっぽくし、ダンスも踊った。元々舞台を見るのが好きで裏方志望で入ったが、人に見られることは緊張するがとても楽しかった。私が舞台に立って嬉しいことは、感想を貰うこと、そしていつもはやらないことを役を通してできることだと感じている。

【バンド】高校（福井県）の文化祭で友達と一緒にコピーバンドをしました。自分はベースを弾き、他はドラム、キーボード、ギター、ボーカルという構成で、曲は丸の内サディスティック／椎名林檎、Runaway baby／Bruno Mars、ノードアウト／Official髭男dism の三曲を演奏しました。あまり人前に立つことは得意ではなかったのですが、この演奏がとても楽しかったのと、演奏のあと教室に戻ったらみんなが褒めてくれたことがモチベーションになって、今でも楽器を続けています。この間の学園祭でも3バンド演奏しました。バンドが演奏にこぎつけるまでに紆余曲折あり、たとえばギターの子と足並みがそろわず揉めたり、演奏枠をめぐるオーディションでメンバーのモチベーションに差ができてしましました。しかし奇跡的にオーディションも通って、結果的に人生で五本の指に入るくらいの思い出にすることができました。

【ダンス】私の通っていた高校（東京都豊島区）では、運動会のとりに3年生だけがダンスをするのですが、振りや音楽、ダンスの際に着用するクラスで色の違うTシャツなど、ダンスに関わることはすべて、有志で構成されるダンス委員たちによって決められます。1・2年生の時は、お揃いのTシャツを身につけた先輩方のかっこいい踊りに見惚れていました。

3年生になり、運動会も終わりに近づいてきて、ダンスを始める体形になった時、自分たちが多くの下級生に見られていることに気づきました。運動会の運営委員長を務めていて運動会に対する思い入れが大きかったこともあり、今までは見る側に立っていたのが、見られる側になったのだと、人生最後であろう運動会がもうすぐ終わってしまうのだと、頭で理解していたことが突如実感に変わり、ダンスが始まる前からかなり泣いてしまいました。

【総行進】体育祭のメインイベントに、中高6学年約1000人がグラウンドで行進し模様を描き出す「総行進」がある。高校3年生が行進パターンの設計や列の動かし方、ポイント打ち、練習の監督まで全て行う。私はパターンの設計を担当、パソコンでパターンを描いて必要な人数の計算を行い、列が曲がる位置のポイントを設定したり、練習時に出来を確認したりした。実際のグラウンドにはパソコン上にはない様々な問題点があり、それを仲間と解決していく達成感があった。

【Tik Tok】妹に付き合わされてTik Tokの動画を1本とった。妹から簡単なフリを5分ほどで指導され、音楽に合わせて踊った。動画を撮るとすぐに妹の友達や私たちの共通の知り合いからコメントが来た。久しぶりに会話できて嬉しかった。